



ジュリアス・ベーカー
ジャン＝ピエール・ランパル
オーレル・ニコレ

『三大巨匠によるフルートの祭典』

世界初！フルートの三大巨匠が一堂に会しコンサートを碧南で開催します。

10/5(火)PM7:00開演 (PM6:30開場)

碧南市芸術文化ホール/エメラルドホール

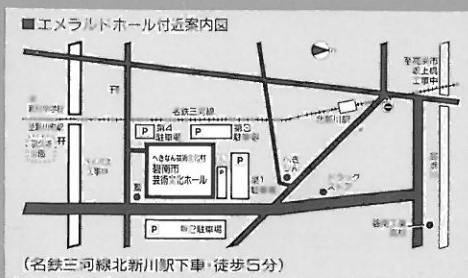
(出演者) 三大巨匠の他にピアノ、チェンバロ
小林道夫/ジョン・スティール・リッター



(曲目) 2本のフルートのための決闘(マシャイエキ)
マスク(武満 徹)、3本のフルートのための挨拶(フォルティーク) 始め、8曲。

入場料:10,000円/当日10,500円(全席指定)

*入場券の発売は碧南市芸術文化ホールで8月29日(日)より発売。
(未就学児の入場はお断り致します。)



*お問い合わせは、碧南市芸術文化ホール ☎0566・48・3731
主催/碧南市・碧南市教育委員会

■フルートは日本人に最も好まれていた楽器といっても言い過ぎではないでしょう。古来から馴染み深い祭りばやしの、横笛の伝統を継ぐからといわれています。日本では世界でも指折りのフルート王国で、国祭コンクールに上位入賞したり、欧米のオーケストラに加わって活躍している人も大勢います。また国産のフルートは、その品質、性能が高く評価され、諸外国の著名なフルーティストが愛用しています。日本でフルートが盛んになったのは、この三人の巨匠の度重なる来日で、「フルートはこういうものか」と触発されたことによります。J・ベーカーは長年ニューヨークフィルの首席奏者をつとめた人、J・P・ランパルは元パリ音楽院教授。A・ニコレはフルトウエンクラー時代のヘルリンフィルで首席奏者。この三人の巨匠の下でフルートを学んだ日本人は数十名の多きを数え、今日の日本フルート界を支えています。この三人が一堂に会し、日本のフルート愛好家、いや音楽愛楽家のためにコンサートを持つのは世界でも初めてで、実には歴史的意義があると申せましょう。今回の日本公演三回のうち、一回を新装華麗な碧南市芸術文化ホールで開かれることは、三人の巨匠にとっても大きな喜びに違いありません。